

第5回 Japaフォーラム

## 地域IoTからみた地方創生の課題 ～ICTを活用した街づくり／スマートシティ～

2019年 8月21日

日本電気株式会社

クロスインダストリー事業開発本部

木村 聡

## Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。  
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ  
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、  
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、  
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、  
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

# NECの考える スマートシティ

都市課題が増加し多様化するが、人や原資などリソースは有限（減る一方）  
課題解決を行うためには、分野横断でデータ利活用した街づくりが重要

## 多様化された都市の新たな課題

### モビリティ/物流

- ・地方公共交通の破綻
- ・人手不足によるサービス地域格差



### ヘルスケア

- ・高齢化による社会保障費増加



### セーフティ

- ・高齢者の増加、女性・子供等の被害



### 防災

- ・異常気象による被害の広域化・甚大化



### 公共インフラ老朽化

- ・経験者不足による維持困難



### 産業振興

- ・外国人誘致、インバウンド促進
- ・地域活性化



## スマートシティ

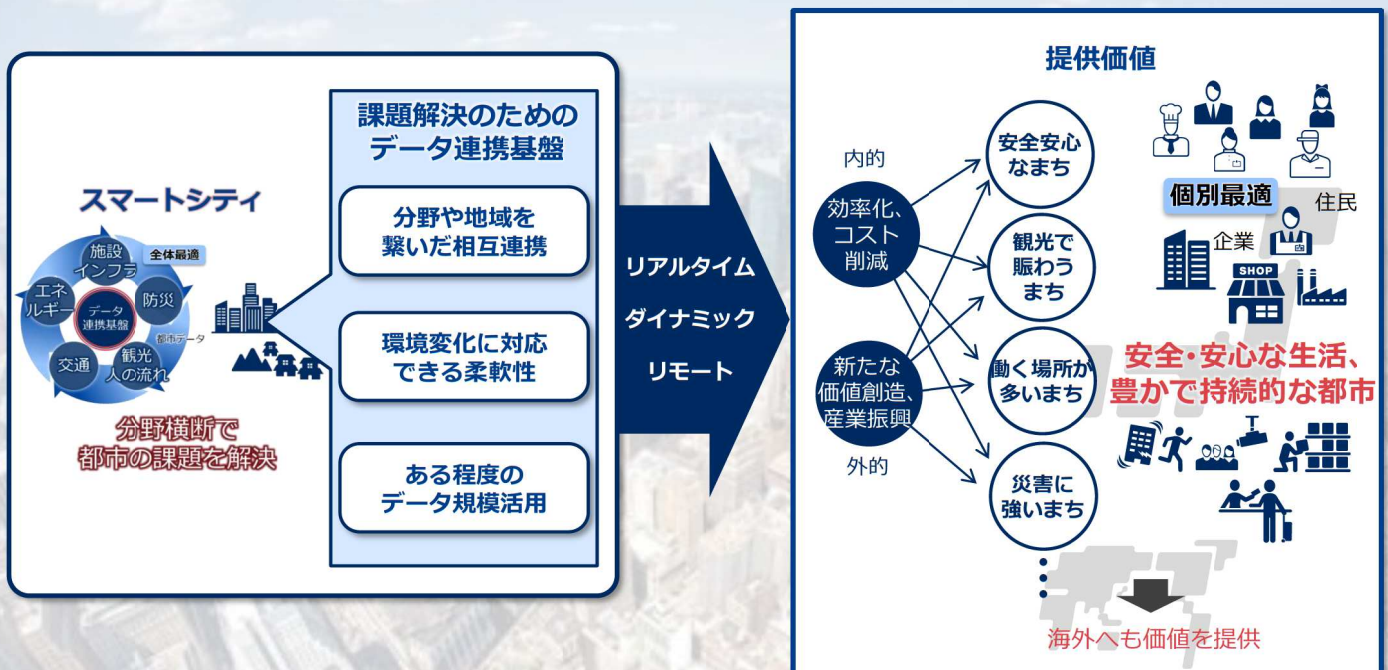


分野横断で  
都市の課題を解決

安全・安心・効率・公平

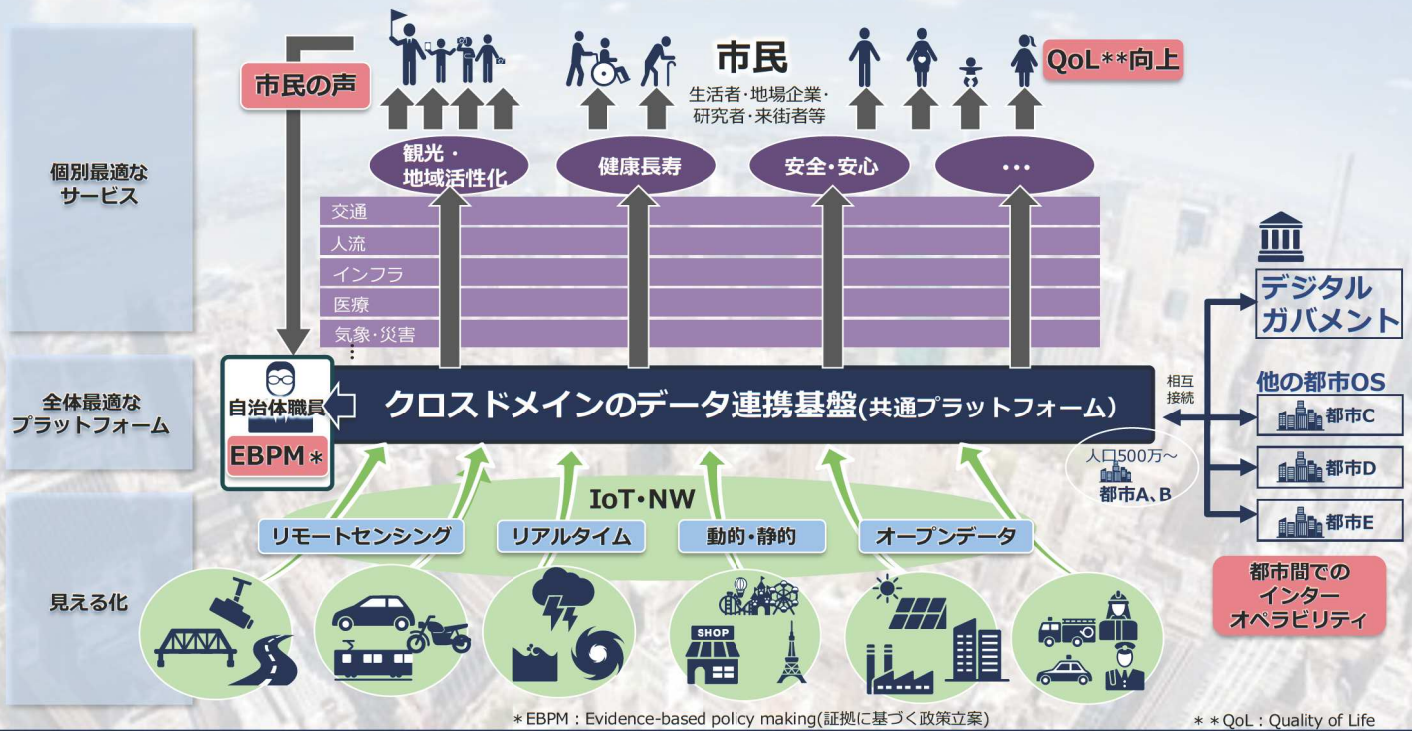
# NECの考える スマートシティのあるべき姿

様々な環境変化に柔軟に対応できるデータ連携基盤・仕組みにより、  
住民や企業にとって「安全・安心、豊かで持続的な都市」の実現



# スマートシティ全体像

地域のデータが集まりやすい場所で中心となるデータ連携基盤をつくり、皆で共有して使う都市間連携を可能とする、市民目線の都市づくり。



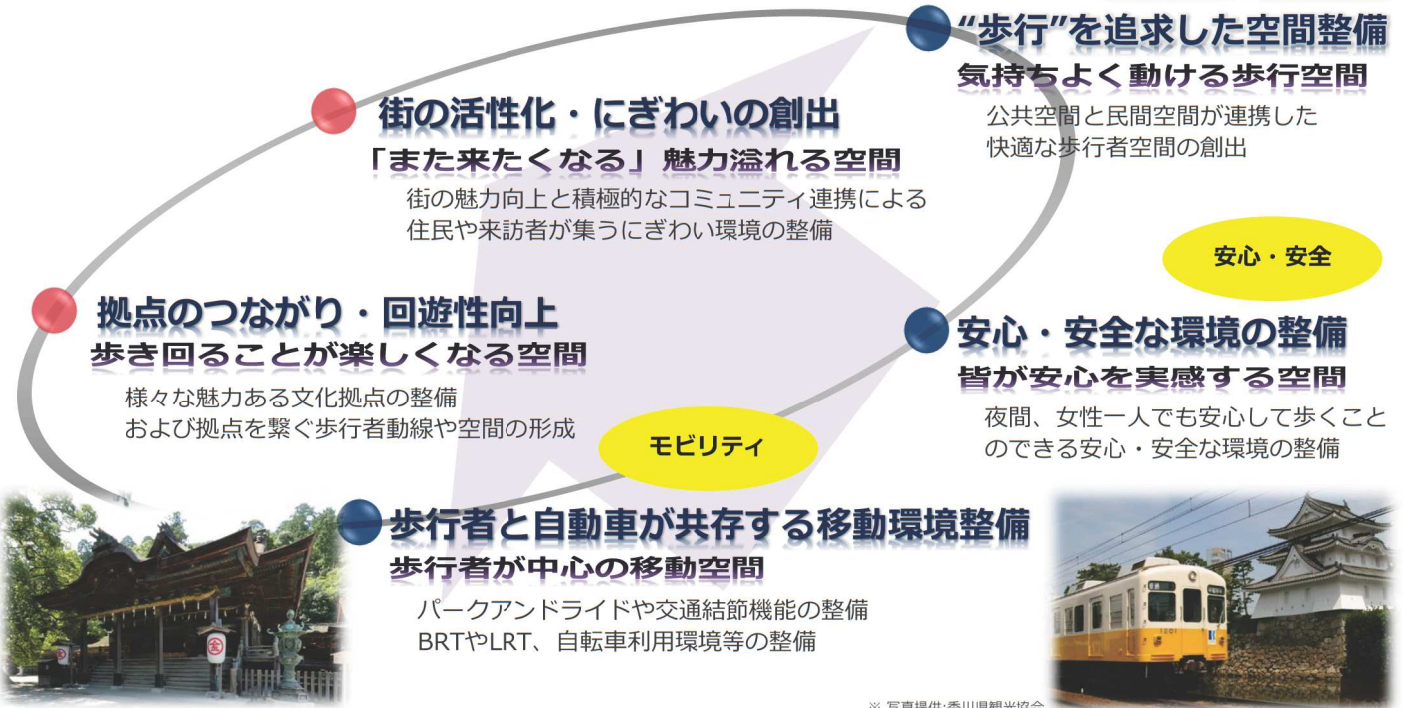
\* EBPM : Evidence-based policy making(証拠に基づく政策立案)

\*\* QoL : Quality of Life

## ユースケース

# 街づくりのビジョン・コンセプト例

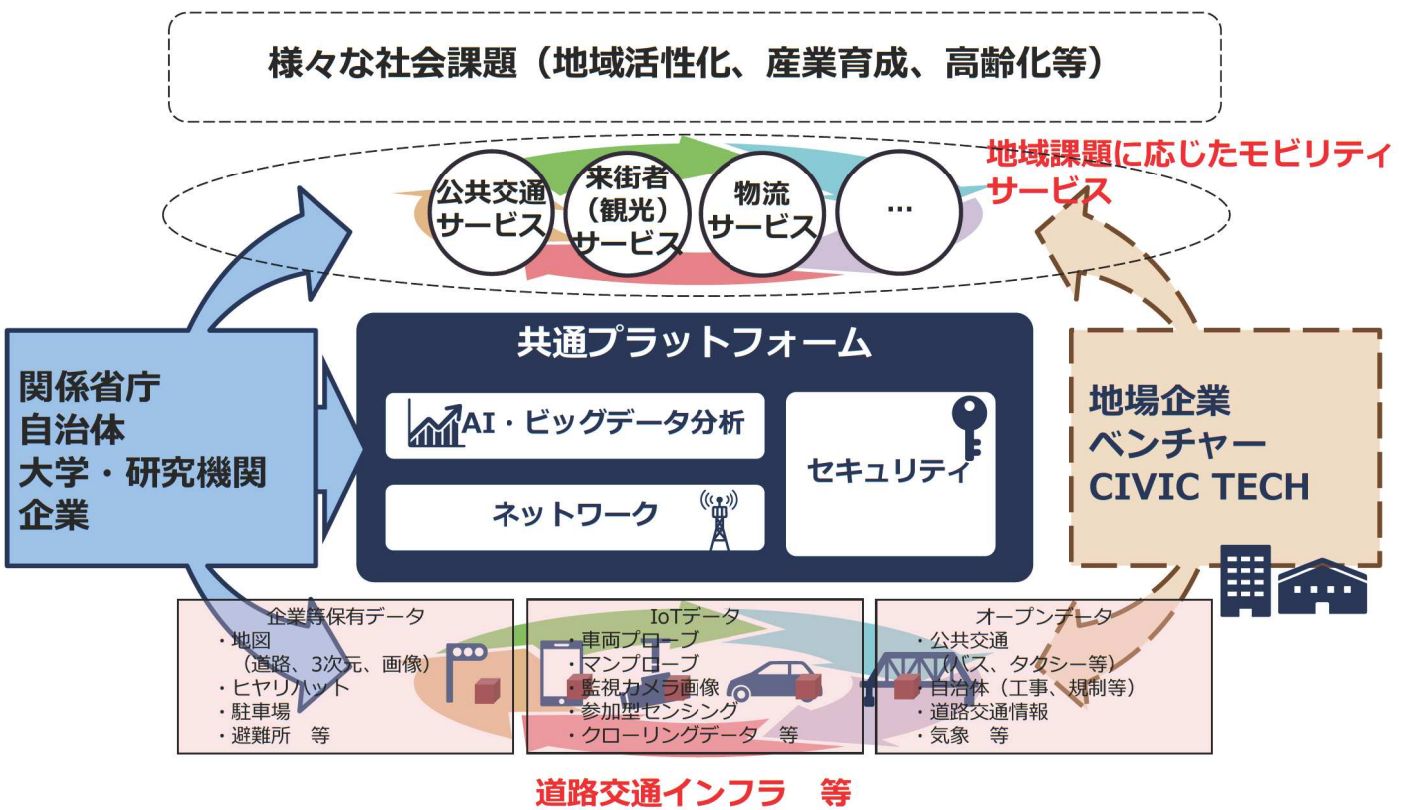
歩行者中心の魅力ある街づくりによる「豊かな空間」の継続的發展



※ 写真提供: 香川県観光協会

## 「モビリティ」に関わる取り組み例

モビリティの革新により、地域が抱える社会課題の解決を目指した取り組み



## まとめ

## 地域IoTからみた地方創生の課題等

今後の地方創生では、地域IoT等を通じ収集したデータを利活用した街づくり（スマートシティ）が重要な取組みの一つ

### ■ 地域、市民の方とのコンセンサス作り

- 現状は、自治体としての課題解決から取組み
- 市民の方に実感できるメリットの提示
- 地域、市民の方との共創の場作り

### ■ スマートシティとしての事業モデル

- 関係省庁、自治体に頼らないサステナブルな事業モデル
- 産官学等、様々なプレーヤーが参画できる共創の場作り
- PDCAの実践

### ■ 地域間での広域連携

- データの共用化
- サービスの共用化
- PDCAの共有化

 **Orchestrating** a brighter world

**NEC**